

1 審査付託事件

- 議案第20号 令和5年度土幌町一般会計予算
- 議案第21号 令和5年度土幌町国民健康保険事業特別会計予算
- 議案第22号 令和5年度土幌町後期高齢者事業特別会計予算
- 議案第23号 令和5年度土幌町介護保険事業特別会計予算
- 議案第24号 令和5年度土幌町介護サービス事業特別会計予算
- 議案第25号 令和5年度簡易水道事業特別会計予算
- 議案第26号 令和5年度公共下水道事業特別会計予算
- 議案第27号 令和5年度国民健康保険病院事業特別会計

2 出席委員（11名）

加藤 宏一 河口 和吉 大西 米明 伊藤 健蔵 牧野 圭司
曾我 弘美 中村 貢 森本 真隆 大野 明 矢坂 賢哉
秋間 紘一

3 欠席委員（1名）

清水 秀雄

4 説明のため出席した者

町長 高木 康弘 教育長 土屋 仁志
代表監査委員 佐藤 宣光

5 土幌町長の委任を受けて出席した者

副町長 亀野 倫生 総務企画課長 西野 孝典
会計管理者 三野宮智恵子 町民課長 吉川 和美
保健福祉課長 藤村 延 産業振興課長 藤内 和三
建設課長 田中 敏博 建設課施設担当課長 上山 英樹
子ども課長 角田 淳二 特老施設長 齋藤 英雄
病院事務長 増田 達也 消防課長 仙石 讓
ほか、関係職員

6 教育長の委任を受けて出席した者

参事 川口 久 教育課長 小野寺 務
給食センター所長 加納 正信 高校事務長 木下 雅子
ほか、関係職員

7 農業委員会会長の委任を受けて出席した者

事務局長 若原 裕

ほか、関係職員

8 職務のため出席した者

事務局長 佐藤 慶岩 総務係長 猪狩 賢明

9 会議録

会 議 の 経 過

(午後 2時40分)

佐藤議会議務局長	ただいまから予算審査特別委員会の構成を行います。 予算審査特別委員会の構成に当たり、委員会条例第8条の規定に基づき、大西米明委員に臨時委員長をお願いしたいと思います。
大西臨時委員長	大西委員、委員長席へお着きください。 臨時委員長の職務を行います。 ただいまから予算審査特別委員会を開会します。 直ちに本日の会議を開きます。 これより委員長選挙を行います。 お諮りします。委員長選挙は、臨時委員長による指名推選にしたいと思えます。ご異議ありませんか。 (異議なし)
大西臨時委員長	なしと認めます。 したがって、委員長選挙は臨時委員長が指名することに決定いたしました。 委員長に加藤宏一委員を指名します。 お諮りします。ただいま臨時委員長が指名しました加藤宏一委員を予算審査特別委員会委員長の当選人と定めることにご異議ありませんか。 (異議なし)
大西臨時委員長	異議なしと認めます。 したがって、ただいま指名しました加藤宏一委員が予算審査特別委員長に当選されました。 以上をもって委員長と交代します。 暫時休憩します。
	午後 2時41分 休憩 午後 2時43分 再開
加藤委員	休憩を解き委員会を再開します。 これより副委員長選挙を行います。 お諮りします。副委員長選挙は、委員長による指名推選にしたいと

		<p>思います。ご異議ありませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
	加藤委員長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>したがって、副委員長選挙は委員長が指名することに決定しました。副委員長に中村貢委員を指名します。</p> <p>お諮りします。ただいま委員長が指名しました中村貢委員を予算審査特別委員会副委員長の当選人と定めることにご異議ありませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
	加藤委員長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>したがって、ただいま指名しました中村貢委員が予算審査特別委員会副委員長に当選されました。</p> <p>ただいまから予算審査特別委員会を開きます。</p> <p>本委員会の運営について特段のご協力をお願いいたします。</p> <p>審査の方法は、理事者からの総括説明の後、各課より説明を受け、質疑の後、会計ごとに討論、採決を行いたいと思います。これにご異議ありませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
	加藤委員長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>したがって、審査の方法は、各課より説明を受け、質疑の後、各会計ごとに討論、採決することに決定しました。</p> <p>なお、説明員の交代については、その都度休憩を宣言して行います。</p> <p>令和5年度土幌町予算総括説明を議題とします。</p> <p>理事者の説明を求めます。副町長、登壇願います。</p>
説明	亀野副町長	<p>それでは、令和5年度予算の総括説明をさせていただきます。令和5年度予算説明資料により説明をさせていただきます。</p> <p>1ページでは、令和5年度当初全会計の総括表となっております。一般会計から病院事業会計まで記載しておりますが、一般会計では76億7,700万円の予算規模として、過去20年間の中で2番目に高く、骨格予算として編成した前年度当初に比べ8億9,000万円、13.1%増、またいわゆる肉づけ予算とした昨年5月補正後と比べ2億2,589万7,000円、3%増の予算となりました。なお、これ以降予算概要説明の前年度との比較につきましては、当初予算との比較でご説明をいたしますので、ご了承願います。</p> <p>国保会計は、北海道への医療給付費分の納付金の増により、昨年度より0.8%と微増の10億4,913万1,000円の予算となりました。</p> <p>後期高齢者会計は、医療給付の伸びによる連合会への納付金の増により4.5%増の1億1,486万8,000円、介護保険会計でも保険給付費の伸びにより3.9%増の7億6,347万7,000円、介護サービス会計は給与費及び電気料金の増に伴い、4.4%増の5億6,192万1,000円となりました。</p>

簡易水道会計では、電気料や修繕料の増に伴い、12.3%増の2億9,764万2,000円、下水道会計におきましては旧下水処理場の設備工事や機器類撤去工事が終了したため31%減の1億5,319万2,000円となりました。

病院事業会計においては、価格高騰の影響を受け、医薬品、光熱費がかさみ、収益的収支で1.3%増、施設照明のLED化及び医療機器更新の増により資本的収支で64.9%増となり、合わせて7.8%増の11億4,445万円となりました。

本年度は、令和4年度の骨格予算編成、その後の町長選挙、肉づけ予算編成を経て、現町政での初めての通常予算となりますが、学校給食の完全無償化事業をはじめ、認定こども園、こども発達相談センターの建て替えに伴う新築工事基本設計事業、しほろ温泉プラザ緑風の再整備設計事業、公営住宅の建て替え事業や公共施設照明のLED化など、子育て関連事業を中心に交流、移住、定住関連事業など第6期町づくり総合計画、第7期行政改革推進大綱の確実な実施に向け、第2期土幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の関連事業を盛り込んだ予算編成となったところであり、全会計の総額は117億6,168万1,000円で、前年度比9.3%増の予算総額となったところでございます。

次に、2ページ目の令和5年度一般会計歳入歳出別対比表を御覧願います。こちらに記載の円グラフの外側が令和5年度分でありまして、前年度との比較となっております。上段のグラフが歳入でありまして、町税では税収見込み等を踏まえ減少し、ふるさと寄附や事業実施に伴う町債の伸びにより特定財源が大幅に増え、構成比が一般財源が55.2%、特定財源が44.8%となっております。下段のグラフが歳出でありまして、投資的経費で普通建設事業が大幅に伸び、消費的経費では物価高騰、エネルギー価格の上昇が相まって燃料費、電気料や新規指定管理業務を含め委託料が伸びており、その他では積立金が伸びておりまして、構成比では投資的経費が18.8%、消費的経費が58.7%、その他が22.5%となっております。

次の3ページ目は、歳入歳出の款別の対比表でございます。左側が歳入であり、特に指定寄附及び愛のまち建設基金からの繰入金が増えたことで寄附金、繰入金の構成比が5.9ポイント伸び、建設事業の実施に伴い町債の構成比が3.5ポイント伸びる一方で、地域経済情勢等を踏まえ、税収の減収を見込み、町税の構成比が3.1ポイント下がっております。右側の歳出につきましては、町有施設照明のLED化、ふるさと寄附の返礼事業関連の経費が増えるなど総務費が2.5ポイント、国営かんがい排水事業の一括償還負担金により農林業費の構成比が2.5ポイント伸び、新型コロナウイルス関連経費の減額により民生費、衛生費の構成比が2ポイント減少したほかは、ほぼ前年度と同様でございます。

次に、4ページ、5ページをお開き願います。こちらは、性質別の歳出予算額調べであります。人件費の減は、退職手当組合負担金の減額によるもので、人件費総額で4.4%の減となりました。物件費の増は、電気料、燃料費などが増える一方、しほろ温泉プラザ緑風の再整備設計事業など19.4%の増となり、普通建設事業費では国営事業負担金の計上や照明LED化工事、消防庁舎の施設設備、道の駅ピア21しほろの施設改修等により45.4%増と単独事業費が前年度に比べ大きく増加したことによるものでございます。積立金の増はふるさと寄附の前年度の実績を考慮し、繰出金の増につきましては簡水会計への水道施設費繰出金によるものでございます。その他につきましては、ほぼ前年度と同様でございます。

次に、6ページ、7ページの節別の歳出予算額調べを御覧願います。職員手当は、先ほどご説明をしたとおり、退職手当組合負担金の減額によるもので、報償費、役務費はふるさと寄附に関わる返礼品等の増によるものでございます。工事請負費は、先ほどご説明した照明LED化工事や消防庁舎の施設整備のほか、公営住宅の建て替え事業、小学校や学校給食センターの施設改修工事等による増で、道路整備に伴う用地取得が増えたことにより公有財産購入費が増となってございます。備品購入費は除雪用機械の購入による増で、積立金はふるさと基金に関わる基金積立金の増によるものでございます。

次に、8ページの性質別歳出予算財源内訳調べを御覧願います。国営事業負担金を含む普通建設事業費が大幅に増えたことに伴い、財源内訳における地方債の割合が大きく増加したところでございます。

次に、9ページから10ページにかけましては、建設事業費に関するものでございます。まず、1の補助事業であります、森林の適正な管理、森林資源の循環利用に努めるために引き続き町有林管理事業及び豊かな森づくり推進事業を進め、町道整備事業として継続事業4路線と橋梁長寿命化修繕3橋並びに年次的に行う点検として13橋を見込んでおります。また、公営住宅建替事業は、中土幌新南団地公営住宅建設費であり、合計では3億2,145万円となりました。

2の単独事業分では、町有施設外灯及び総合福祉センターの照明のLED化工事に3,398万円、新栄地区農道及び下居辺地区明渠関連事業を合わせ9,180万円、町道関係では舗装の長寿命化に4,000万円、10ページに移りまして、消防庁舎のボイラー及び施設設備合わせて4,950万円とその他観光3施設並びに各学校等の老朽化などに伴う改修事業を合わせ、前年度比3億5,166万1,000円増の6億7,898万3,000円となりました。

次に、3の国直轄事業は、国営かんがい排水、富秋土幌川下流の完了により繰上償還負担金として1億4,864万円を計上し、4の道営事業では畑総6地区、水利1地区、通作条件1地区、特別農道1地区、

		<p>道管林道ワッカ美加登線開設事業の合計で前年度比3,686万円増の2億9,473万5,000円となり、5の受託事業につきましては記載のとおりでございます。</p> <p>11ページの国費、道費による各種事業導入調べは、記載のとおりでございます。</p> <p>なお、町有林管理事業位置図は12ページに、土地改良事業施工位置図については13ページに、土木事業施工位置図については14ページに、中士幌新南団地の整備計画図については15ページにそれぞれ記載をしておりますので、ご参照を願います。</p> <p>以上で令和5年度予算の概要説明とさせていただきます。</p> <p>総括説明が終わりました。</p> <p>審議に当たりましてお願いを申し上げます。質疑される委員は、マイクのボタンを押し、予算書のページを明示してから質疑をしてください。また、会議規則等に基づき、議題外にわたらないようお願いいたします。質疑は1人1問とし、さらに質問があれば、ほかの委員の質疑が終わってから許すこととします。関連で質問する場合は、第1質問者の質疑が終わってから行ってください。</p> <p>これより議事に入ります。</p> <p>令和5年度士幌町一般会計予算を議題とします。</p> <p>ここで説明員交代のため暫時休憩とします。</p> <p style="text-align: center;">午後 2時57分 休憩 午後 2時59分 再開</p>
<p>説明</p>	<p>加藤委員長 佐藤議会議務局長</p>	<p>休憩を解き委員会を再開します。</p> <p>議会費、総務費の説明を求めます。議会議務局長。</p> <p>33ページ、議会費について議会議務局長、佐藤よりご説明申し上げます。</p> <p>1款1項1目議会費の予算総額は8,167万4,000円で、前年度比87万7,000円増の予算計上となっております。増額となった主な要因は、議場傍聴席の改修費用によるもので、10節需用費、修繕料に13万2,000円増の57万円を計上し、傍聴席の段差解消を図るとともに、固定された連結椅子24脚を撤去、次のページに移りまして、17節備品購入費、庁用備品購入費に44万4,000円増の50万4,000円を計上し、メモ台付椅子3脚を含め傍聴用椅子8脚を購入するために増額するものです。その他の節につきましては、おおむね前年同様の予算を計上したところです。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
	<p>加藤委員長</p>	<p>総務企画課長。</p>

西野総務
企画課長

総務企画課長、西野よりご説明申し上げます。

34ページの2款1項1目一般管理費は、前年度対比974万3,000円減の3億6,468万4,000円を計上したところであります。特定財源につきましては、権限委譲交付金、愛のまち建設基金繰入金及び一般単独事業債を記載のとおり充当しております。1節報酬から35ページ上段の4節共済費までは、人件費として合計前年度比3,511万円減の2億5,853万9,000円で、減額の主な要因は3節の退職手当組合負担金において前年度にありました3年に1度の追加負担金の精算分が減になったことによるものでございます。7節報償費では、町PR報償費20万円を新たに計上、10節需用費は昨今の電気料金値上げの状況を考慮し、電気料を前年比370万円増の950万円計上し、その他は前年度実績等を考慮した計上としたところでございます。11節役務費は、ラジオ番組への協賛による町のPR、イベント情報の発信などを予定し、広告料を前年度比80万円増の98万円計上、役場庁舎内の消火栓ホース更新のためその他手数料を前年度比52万8,000円増の92万8,000円計上し、そのほかは前年度実績等を考慮した計上したところでございます。36ページをお開き願います。12節委託料は、人件費、資材費等の高騰による各種施設管理、点検等委託業務全般で増額となったほか、新規では新個人情報保護制度に関するもののほか、人事評価システム導入に関する支援業務を新たに計上しているところでございます。13節使用料及び賃借料は、クラウドPBX使用料397万2,000円を新たに計上、14節工事請負費では役場庁舎地下の北側にあります擁壁の改修並びに庁舎防災機能強化に向けた水道工事の費用として合わせて1,020万円計上しております。その他の節においては、おおむね前年度実績を考慮し、計上したところでございます。

次に、37ページに移りまして、2目文書広報費は、前年度対比192万円増の789万9,000円を計上したところでございます。増額の主な要因は、昨年5月の前年度補正予算に計上し、9月末に開設いたしました町公式ラインの委託料並びに令和3年度から開始し、3年目となります記録映像の制作費用を当初予算に計上するもので、12節委託料の増であります。特定財源につきましては、自衛官募集事務委託金及び雑入金を記載のとおり充当しております。

次に、3目財産管理費は、前年度対比2,474万5,000円増の6,388万2,000円を計上したところでございます。増額の主な要因は、38ページの14節工事請負費で町有施設の照明LED化工事に2,398万円計上したところによるものでございます。その他の節においては、おおむね前年度実績を考慮し、計上したところでございます。37ページに記載の特定財源につきましては、土地、建物使用料及び施設貸付料ほか、記載のとおり充当しております。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
藤内産業
振興課長

産業振興課長。

産業振興課長、藤内からご説明いたします。

38ページの4目町有林管理費につきましては、林務担当職員の人件費及び町有林管理に要する経費として、前年度比1,133万3,000円増の4,385万3,000円を計上しております。増減の主なものは、39ページ、12節委託料で森林作業道等整備事業委託料として500万円、14節工事請負費で造林、下草刈り、間伐、保育間伐の各事業については、人件費の増や資材等の高騰及び事業面積の増により前年度比583万3,000円増の2,221万6,000円、15節原材料費についても植栽面積の増によりカラマツ等の苗木本数等も増えることから、前年度比34万1,000円増の149万2,000円をそれぞれ計上しております。他の節につきましては、おおむね前年同様の額を記載のとおり計上しております。なお、事業箇所、事業面積につきましては、予算説明資料12ページの令和5年度町有林管理事業位置図に掲載しております。38ページに戻りまして、特定財源につきましては、町有林造林事業補助金788万9,000円など、記載のとおり充当しております。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
西野総務
企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、西野よりご説明申し上げます。

39ページの5目公平委員会費は、前年度と同様の15万4,000円を計上しております。

次に、6目企画費は、前年度対比1億4,408万円増の3億928万6,000円を計上したところでございます。特定財源につきましては、道支出金や基金利子収入、指定寄附金など記載のとおり充当しております。増額の主な要因は、前年度のふるさと納税の寄附実績約5億円を踏まえた感謝特典事業に要する経費の増によるものでございます。7節報償費から40ページに移りまして12節委託料までは、ふるさと納税の感謝特典事業に要する手数料、委託料等の経費について前年度より合わせて約1億3,000万円増額計上しているほかは、おおむね前年度実績等を考慮した計上としております。次に、41ページに移りまして、14節工事請負費は、光ファイバー網が全町整備されたことに伴い、農村部の高速無線通信を終了するためFWAアンテナ、電柱等撤去費用として935万円を新たに計上いたしました。18節負担金補助及び交付金は、各負担金、補助金等おおむね前年度同様の額を計上しておりますが、下から2行目の地域少子化対策重点推進交付金につきましては、自治体が行う結婚新生活支援事業に対して国が経費の2分の1を交付金で支援するもので、令和5年度から交付上限額の引上げなど制度が拡充されることに伴い、前年度比180万円増の330万円を計上している

ところでございます。

次に、41ページ下段の7目環境対策費は、前年度対比51万2,000円減の78万2,000円で、1節報酬にはゼロカーボン推進協議会委員報酬17万円を追加いたしました。42ページをお開き願います。8節旅費にゼロカーボン推進協議会委員費用弁償2万5,000円を追加、前年度まで12節委託料に計上していましたが環境マネジメントシステム運営支援委託料を減額したほかは、前年度とほぼ同様な額を計上しております。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
吉川
町民課長

町民課長。

町民課長、吉川よりご説明いたします。

42ページ下段、8目生活安全推進費は、予算額422万2,000円、前年度対比28万1,000円の減額で、その主な要因は令和4年度に実施しました旧北中音更小学校交差点の安全確保のための立木伐採等の委託料26万4,000円がなくなり、新たに防犯カメラ保守点検委託料17万3,000円を計上し、その他の節につきましては前年度実績に応じて記載のとおり計上しております。特定財源につきましては、消費者行政活性化事業交付金を記載のとおり見込んでおります。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
西野総務
企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、西野よりご説明申し上げます。

43ページの9目情報管理費は、前年度対比688万5,000円増の6,082万3,000円を計上したところでございます。12節委託料で人事評価システムの構築業務として、下から2行目の情報システム整備委託料143万円を計上、13節使用料及び賃借料では下から2行目は前年度途中から導入した庶務管理システムの使用料277万9,000円並びに一番下の人事評価システム使用料110万円を追加し、17節備品購入費の庁用備品購入費は、前年度比49万4,000円増の483万7,000円を計上しております。その他の節においては、おおむね前年度実績等を考慮し、計上したところでございます。

次に、10目地域生活交通確保対策事業費は、前年度対比140万6,000円増の2,812万3,000円を計上したところでございます。特定財源につきましては、国鉄土幌線基金の利子収入及び同基金の繰入金並びに愛のまち建設基金繰入金を記載のとおり充当しております。10節需用費は、消耗品費、燃料費、電気料をそれぞれ微増とし、12節委託料でコミュニティバス運行委託料を前年度比11万9,000円増の687万8,000円計上したところでございます。44ページをお開き願います。18節負担金補助及び交付金は、十勝バス、拓殖バスへの地域生活交通路線維持費補助金を前年度同額の1,400万円計上、自宅から役場までのハイヤ

一チケットを交付する高齢者等移動支援事業助成金には実績等を勘案し、前年比110万円増の560万円を計上いたしました。

次に、11目協働推進事業費は、前年度対比100万円増の1,451万5,000円を計上したところでございます。特定財源につきましては、愛のまち建設基金繰入金を記載のとおり充当いたします。増額は、18節負担金補助及び交付金の上から3行目、パートナーシップ助成金で昨年5月の前年度補正予算に計上し、新設した自主防災組織の活動に対する助成を当初予算として計上したことによるもので、そのほかは前年度と同額を計上いたしました。

次に、12目諸費は、前年度対比125万3,000円増の1,708万円を計上したところでございます。特定財源につきましては、愛のまち建設基金繰入金を記載のとおり充当いたしました。10節需用費では、電気料が前年比17万円増の110万3,000円を計上、45ページに移りまして、12節委託料で防災無線保守管理委託料が前年比30万8,000円増の757万4,000円、19節扶助費の災害救助用物資では食料品や衛生資機材などの計画的な整備を進めるため、前年比81万8,000円増の402万9,000円を計上いたしました。その他の節においては、おおむね前年度と同様の計上といたしました。

次に、13目財政調整基金費は、前年度対比1万1,000円増の7万1,000円で、利子分を基金に積み立てるもので、特定財源につきましては基金利子収入を全額充当するものです。

次に、14目愛のまち建設基金費は、前年度対比1億2,500万2,000円増の2億5,007万3,000円で、指定寄附金を基金に積み立てるものですが、ふるさと納税の寄附実績を踏まえた計上としたところでございます。特定財源につきましては、基金利子収入及び指定寄附金を記載のとおり充当するものでございます。

次に、15目飯島賞贈呈基金費は、前年度と同額の5万円で、表彰者への記念品を購入する経費を計上し、特定財源につきましては基金利子収入及び繰入金を記載のとおり充当するものでございます。

次に、16目減債基金費は、前年度対比7,000円増の9万8,000円で、利子分を基金に積み立てるもので、特定財源につきましては基金利子収入を全額充当するものです。

46ページをお開き願います。17目地方創生推進事業費は、前年度対比27万5,000円減の310万円となり、十勝地域と台東、墨田連携交流事業負担金は、事業終了により87万5,000円減額、移住支援事業助成金は助成内容が一部拡充されたことにより60万円増の260万円を計上したところでございます。特定財源につきましては、地方創生推進交付金、移住支援事業交付金を記載のとおり充当しております。

その下の開町100周年記念事業費は廃目でございます。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
吉川
町民課長

町民課長。

町民課長、吉川より説明いたします。

2項1目税務総務費は、予算額5,021万3,000円、前年度対比245万9,000円を増額するもので、その主な要因は人事異動に伴う2節給料から4節共済費までの人件費148万2,000円を増額、その他の節につきましては前年度実績等に応じて前年度どおりおおむね同額を記載のとおり計上しております。特定財源につきましては、税務関係公募閲覧手数料ほか、記載のとおり見込んでおります。

47ページ下段、2目賦課徴収費は、予算額1,882万8,000円、前年度対比211万6,000円を減額するもので、その主な要因は令和4年度に実施した地方共通納税システム対応納付書改修委託料の完了に伴う委託料326万5,000円の減額と固定資産評価替え対応のための電算保守点検委託料49万5,000円を増額するもので、その他の節につきましては前年度実績等に応じておおむね同額を記載のとおり計上しております。特定財源につきましては、自動車臨時運行許可申請手数料を記載のとおり見込んでいます。

次に、48ページ、3項1目戸籍住民基本台帳費は、予算額3,323万9,000円、前年度対比575万9,000円を増額するもので、その主な要因は人事異動に伴う2節給料から4節共済費までの人件費572万8,000円を増額、11節役務費にマイナンバーカード申請用の通信回線料10万8,000円、公式ライン用諸証明電子決済手数料2万円を新たに計上しました。その他の節につきましては、前年度実績等に応じておおむね同額を記載のとおり計上しております。特定財源につきましては、諸証明手数料ほか、記載のとおり見込んでおります。

以上で説明を終わります。

加藤
委員長
西野
選挙管理
委員会
事務局長

選挙管理委員会事務局長。

選挙管理委員会事務局長、西野よりご説明申し上げます。

4項1目選挙管理委員会費は、前年度対比88万2,000円増の695万9,000円で、増額は2節給料から4節共済費までの職員1名分の人件費を増によるもので、そのほかはほぼ前年と同額となっております。

次に、2目知事道議会議員選挙費は、本年4月に執行されます選挙における令和5年度分の執行経費として前年度対比68万4,000円減の499万6,000円を計上するもので、特定財源につきましては道委託金を記載のとおり充当するものでございます。

50ページをお開き願います。3目町議会議員選挙費は、本年4月の選挙における執行経費として総額1,699万6,000円を計上しております。なお、51ページの参議院議員通常選挙費は廃目でございます。

以上で説明を終わります。

加藤委員長 西野総務 企画課長	総務企画課長。 総務企画課長、西野よりご説明申し上げます。 51ページの下段、5項1目統計調査総務費は、前年度対比54万6,000円増の771万9,000円で、2節給料から4節共済費までの職員1名分の人件費の増と令和5年度に実施される住宅・土地統計調査に係る経費を除くとほぼ前年同様となっております。 以上で説明を終わります。
加藤委員長 佐藤 監査委員 事務局長	監査委員事務局長。 52ページ、監査委員費について監査委員事務局長、佐藤よりご説明申し上げます。 2款6項1目監査委員費の予算総額は226万4,000円で、前年度比16万7,000円増の予算計上となっております。増額となった要因は、監査委員の改選期に伴う道外研修のため8節旅費に14万6,000円増の37万8,000円を計上したことによるものです。その他の節につきましては、前年度実績等を考慮し、計上したところによるものです。 以上で説明を終わります。
加藤委員長	議会費と総務費の説明が終わりましたが、本日の予算審査特別委員会はこれにて散会いたします。 明日は午前10時から再開いたします。

(午後 3時18分)